

頑張る学校・地域！ 応援プロジェクトについて

生涯学習課

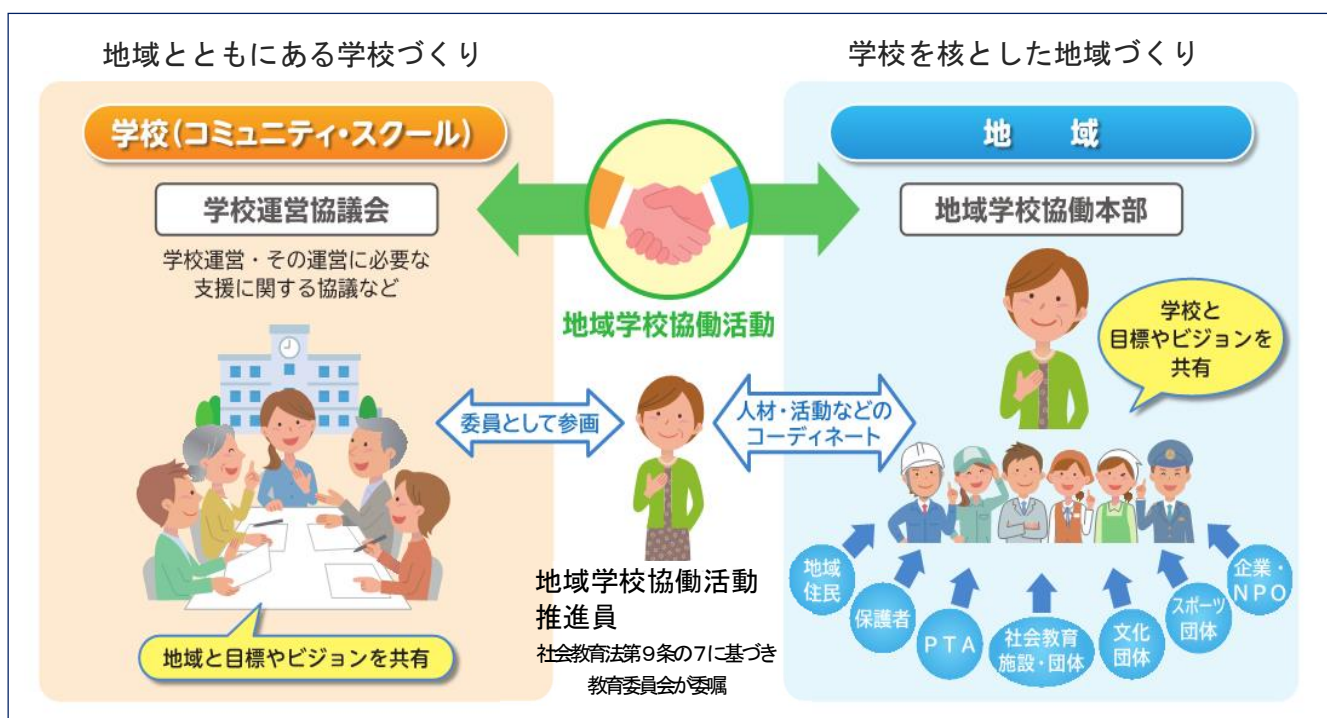
1 事業の目的

新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現するため、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」への支援を一体的に行うことにより、子どもたちの豊かな人間性や主体的に考える姿勢を育むとともに、子どもの学びを支える地域の教育力の向上を図る。

2 支援の方針

- ① 学校(学校運営協議会)、地域(地域学校協働本部)それぞれの体制整備、活動支援等
- ② 学校と地域の連携を促進するコーディネート機能(地域学校協働活動推進員)の強化

【地域と学校の協働体制】



3 事業の概要と成果

(1) 学校と地域の連携推進モデル事業の実施

① 概要

各教育事務所が管内公立小・中・義務教育学校から指定した「学校と地域の連携推進モデル事業実践校」(以下、モデル校という。)に支援チームを派遣し、体制整備・連携活動・研修等の支援を行う。

また、事業成果の波及を図るため、モデル校の実践発表を主な内容とした全県フォーラムを開催する。

- ・モデル校の指定 : 42校(R2~4) ※ 14校(教育事務所ごとに2校)/年度
- ・全県フォーラムの開催 : 令和2年度(オンデマンド配信) 動画再生回数: 延べ923回
令和3年度(オンライン開催) 参加申込者 : 84名

② 成果

市町において、地域学校協働本部やコミュニティ・スクールの体制が整備された。

項 目	本県結果（令和元年度比）	全国結果
地域学校協働本部の整備状況 （県内小・中・義務教育学校）	66.7% （16.4ポイント増加）	65.1%
コミュニティ・スクールの導入状況 （県内小・中・義務教育学校）	35.7% （5.1ポイント増加）	37.3%

【文部科学省 令和3年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施調査】

(2) 地域学校協働活動推進員養成研修の実施

① 概要

学校と地域が連携・協働して行う様々な活動や人々をつなぐコーディネーターの役割を担う「地域学校協働活動推進員」の養成研修を実施する。

・研修修了者数 63名（令和2年度：26名、令和3年度：37名）

② 成果

項 目	本県結果（令和元年度比）
地域学校協働活動推進員の配置	7市町 （4市町増加）
地域学校協働活動推進員数	305名 （285名増加）

【文部科学省 令和3年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施調査】

(3) 学校と地域の連携・協働推進ハンドブックの作成

〔概要〕

学校と地域の連携・協働の推進の参考資料とするため、事業成果及び実践事例等を掲載したハンドブックを作成し配付する。

※ 作成委員会を設置し、現在、内容を検討中

4 今後の対応

- ① 学校と地域の連携・協働推進ハンドブックを活用した市町支援
- ② 地域学校協働活動推進員養成研修の継続、研修修了者の活動支援